





横尾山 馬の背 2022.5.3.



横尾山馬の背より東山の眺望 2022.5.3.



横尾団地幹線外周道路 すぐ横 見上げる横尾山山腹は新緑  
空の青とのコントラストも美しい  
このバス道に沿ってすぐ向こう側 横尾山の山腹を巡る散策路 横尾道が巡っている



見上げる新緑の横尾山の山腹 野路菊の丘にはこいのぼりが翻っている



【番組映像抜粋紹介】  
NHK がんばる新視線 2022.5.13.夜  
「中年化」する就職氷河期世代～非正規雇用540万人の衝撃～を視聴して  
2022.5.17. Mutsu Nakanihi



薔薇 5月 我が家の庭も一変 華やかに 2022.5



うれしい5月 一週間ほどで見違えるよう 門先で  
アクロステンマの花がこんなに沢山満開に

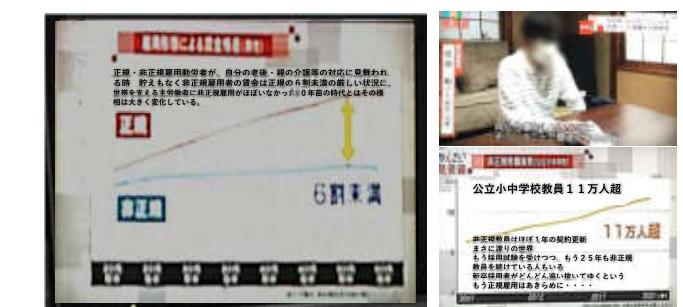


## かんさい 熱視線

# “中年化”する就職氷河期世代

～非正規雇用540万人の衝撃～

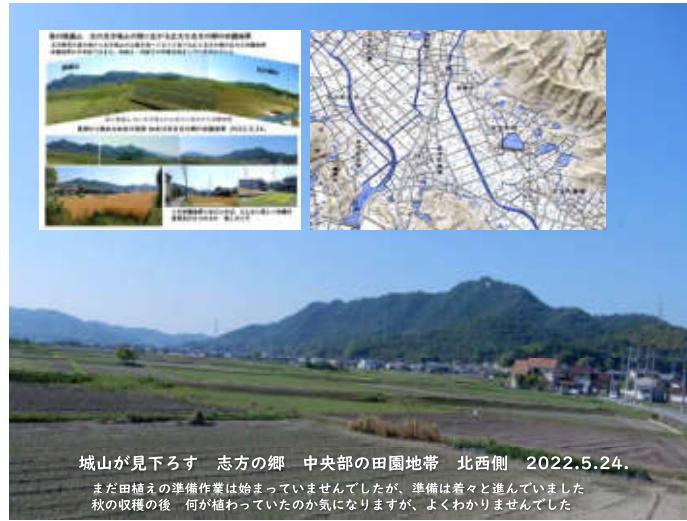














2022.5.24. 兵庫県加西市 網引湿原で

この草原を見た当初は何の変哲もない草原と思ったのですが、絶滅危惧種の八丁蜻蛉や朱鷺草・鷺草ほか数々の貴重な生物がいる素晴らしい湿原です



一円玉の大きさ 絶滅危惧種のトンボ 八丁蜻蛉(オス)  
2022.5.24. 兵庫県加西市 網引湿原で



湿原の中ですと望遠カメラのファインダーを覗いている人がいる。  
この人に会えたのが、本当にラッキーになりました。  
野鳥でも待っているのか、随分長いなあ・・・でも、鳥だと声もかけられ。  
こちらへ来られたので声をかけた。「八丁蜻蛉を撮影している」と。  
「兵庫県では今やここだけの絶滅危惧種」。  
また湿原の野草に��じて咲く這ピンクの小さな花は朱鷺草  
真には一面朱草が咲いて素晴らしいよ」と。  
すぐその草むらに近づいて 草の中 指さして 観察の仕方も交えて  
色々教えてもらった。  
名前は知っているものの実物をまじかにみる機会 びっくりです。



兵庫県では唯一の自生地  
加西市網引湿原  
日本一小さな蜻蛉

一円玉の大きさ 絶滅危惧種のトンボ  
八丁蜻蛉(オス)



一円玉の大きさ 絶滅危惧種のトンボ 八丁蜻蛉(オス)  
2022.5.24. 兵庫県加西市 網引湿原で  
現在兵庫県で飛んでいる八丁蜻蛉がみられるのはもうこの湿原だけだと聞きました。  
小さいので、草むらにいるのを見つけるのがむつかしい。 教えてもらってやっとバカチョンカメラで。



高台を東西に走る県道716 南網引 加西南産業団地の横から眺める加西市田園地帯の絶景  
広大に広がる加西市田園地帯の中央 東西へ延びる北条鉄道の青い万願寺川鉄橋  
その奥南北に流れ万願寺川沿い奥へ続く播磨中央自動車道  
背後には南北に跨る丘 青野ヶ原の丘 遠く中国自動車道沿いの山並みが見えていた  
志方の郷へよく前に再度北へ出て 加西の田園地帯を眺めました 2022.5.24.



自生種が本当に少なくなったと聞く「朱鷺草」  
2022.5.24. 兵庫県加西市 網引湿原で



自生種が本当に少なくなったと聞く「朱鷺草」一枚だけ花の姿がきっちり写った写真が撮れました  
2022.5.24. 兵庫県加西市 網引湿原で  
真には野草が咲き乱れるところ、再度訪れたいくらいであります。  
この湿原も波難で大変だったようですが、今はきちんと保護されています  
場所は中国道現渓S北側の里山の山中。 公共機関なく交通の便が悪い

## 仲間が送ってくれた小冊子のことば

## ポストコロナの時代を生きる知恵が詰まっている

もう20数年前千葉県柏に単身赴任していた時にとあるうどん屋さんでこの小冊子をみつけ、会社の頃会など簡単なあいさつによく使わせてもらったりフレーズの数々、なつかしい冊子です。

先日久しぶりに古い小冊子二つで「佐太郎元気かし」をやった時にひょんなことから仲間が今もその啓発運動に参加していると聞いて、送ってもらった小冊子。

確かに当時を思い出すとともに、冊子の中は「ポストコロナの時代を生きる言葉や知恵が満載。肩が開ぬといふが、ひと頭を振る優しさ。

新聞紙のコラム「无声人種」「金縛」「正平録」でもそんな言葉に出会う。インターネットではマイクロあり、中々直に受け取れない記事も多い。判りやすく日常生活に即したフレーズの数々。

なつかしく、新鮮でした。

そんな中から一つ目に届いた5月30日は「ゴミゼロの日」の紹介。

ポストコロナの新時代 地球人として低炭素循環の社会構築が必須のキーワードとして毎日数々の言葉が踊っている。

新聞各紙にも数多く企業取組が毎日載っているが、何か企業宣伝・技術面強調ばかりの記事で、日常生活と社会変化にまで立ち入った記事に出会うのはごくまれ。昨日の新聞にも、「これから大量に発生する老朽化した太陽電池パネルの粗大ごみ」の記事。また、新たな高度情報社会の構築の中で生じている粗大ごみの資源化が指摘され、その先端に日本の技術が立っているといふ「資源ごみの言葉」とと共に、毎日日常の分別ごみ出し収集」もその一翼と、

後醍醐天皇が「相木ごみ」とも呼ばれ、口常社会からの跡外感がますます強くなっていますが、「毎日のゴミ出し」参加が低炭素社会構築の大切な第一歩。

その一翼を担って参加していこう!うれしくなる。

仲間が送ってくれた冊子にさりげなく繋り掛けてくれる言葉の数々。送ってくれた仲間に感謝をこめて、ほっと一息と今日の「ぶつづつ」。

どんな社会になるのかまだまだ判りませんが、地球人として誰もが取組む第一歩 元気に毎日を。

2022.6.1. From Kobe Mutsu Nakanishi



## 仲間が送ってくれた小冊子のことば

## ポストコロナの時代を生きる知恵が詰まっている



